

「地域ぐるみの野生鳥獣被害対策診断事業」の支援

当センターでは各広域振興局に設置されている「野生鳥獣被害対策チーム」の活動を支援しています。

南丹地域野生鳥獣被害対策チームでは、地域住民自らによる地域ぐるみの野生鳥獣被害対策が促進されるよう、地域ぐるみの野生鳥獣被害対策診断事業を平成 29 年度から実施しています。事業では聞き取りを基に「集落診断カルテ」を作成するとともに、現地調査を行い被害対策の共同実践を行っています。今年度も 5 箇所の重点指導集落を選定し、被害対策の模範事例となるよう個別指導を行っています。

その中で、当センターは防除柵の設置や補強の技術的指導や、シカやイノシシの行動をふまえた防除と捕獲の連携の指導など、防除対策全般について助言しています。

カルテ番	R1-	集 落 診 断 カ ル テ	様式③
集 落 名	*****	調査年月	開取調査 元 年 8 月 30 日 調査 年 月 日 現地調査 年 月 日 診 断 *****
集 落 の 物 理 的 な 条 件 (地 形 、			
被害の大	・ほとんど	・軽度	・大 き し ・ 深 刻 ・ 防 御 が 必 要 な
(加 害 獣 の 種 類 や 行 動 、 栽 培 作 物 種 等 に			
被害の特	これまでの柵の維持管理、個別柵の設置、被害を受けにくい作物への転「軽度」と感じた。		
対策の対象となる動物の	1	イノシシ	2 シカ 3 4
被害対策の現状 (1 ～ 4 点 で 表 示)			
項目	得点	具体例	
出没阻止	3	侵入経路を把握して	
侵入防止柵	3	補強等の対策ができ	
柵の維持管理	3	補強等の対策ができ	
餌を無くす取組	2		
追い払い	1		
棲み処としない	1		
捕獲対策	4	捕獲の効果は大きいと感	
栽培の工夫	4	作物転換を実施して	
総合判定	・あまり対策は進んでいない ・集落ぐるみの対策に取り組んでい		

集落診断カルテ (一部)



電気柵の作動確認(京丹波町内)